

2012年「サラウンドの日」ホームシアターセミナー&体験視聴会より

音楽をサラウンドサウンドで聴こう

オタリテック株式会社
石井 久雄

去る5月1日に開催された『サラウンドの日～ホームシアターセミナー&体験視聴会』において「音楽をサラウンドサウンドで聴こう」というコーナーを担当いたしました。当日は、進行の都合で用意した試聴素材を全部お聴かせできなかったこともあり、あらためましてサラウンドの音楽素材についての魅力やお奨めソフトについてご報告申し上げます。

私は、プロ用音響機器の商社でプロ用モニタースピーカーを取り扱っております。もちろんプロの現場でもサラウンドはかなり普及しておりまして、試聴テストに使うサラウンド素材を選んでいるうちにサラウンド音楽に関わるようになり、色々なパッケージソフトを集めるようになりました。そして今回は、サラウンドの良さが生かされたお奨めの作品をセレクトしてみました。



イーグルス / ホテル・カリフォルニア
発売日: 2011年8月17日
フォーマット: SACD ハイブリット
レーベル: Rhino (国内盤)
規格品番: WPCR-14165

この作品のオリジナル盤は、1976年にリリースされ第20回グラミー賞最優秀アルバム賞を受賞し、2001年にDVD-Audio盤での5.1ミックス盤が登場して、後に同じ音源がSACDハイブリット盤で発売されました。

ミキシングエンジニアは、米海軍で潜水艦のソナー員だったビル・シムジク氏とPOP系音楽サラウンドでは評価の高いエリオット・シャイナー氏が携わっています。エリオット・シャイナー氏の特徴としてはメインボーカルはフロントch中心ですが、伴奏などはリアchへのパンニングが大胆で、賛否が分かれる作品もありますが、何度か聴いているうちにそのパンニングの必然性が分かってきたりします。なお、エリオット・シャイナー氏は、2005年に日本オーディオ協会より第10回「音の匠」顕彰で特別賞が授与されております。



Pink Floyd / Wish You Were Here
発売日: 2011年12月2日
フォーマット: SACD ハイブリット
レーベル: EMI / Analogue Productions
(輸入盤)
規格品番: CAPP3345SA/ XW0294352
(左: SACD 盤、右: Blu-ray 付 Box セット)

ピンク・フロイドの作品は、2003年にリミックスでリリースされた SACD ハイブリット盤の「狂気 / The Dark Side Of The Moon」が音楽サウンズの優秀作品としても非常に有名で、ずっと長い間続編の登場が待ち望まれていました。そして満を持して登場したのがこの作品です。オリジナル盤は、1975年にリリースされ全英、全米ともにアルバムチャートで1位に輝いています。2011年12月に SACD ハイブリット盤と11月に5枚組みの Box セットが発売されて、このセットでは、Blu-ray ディスクに非圧縮リニア PCM 24bit/96kHz 仕様のハイレゾリューションでサウンド音源が記録されています。

マスタリングは、前作で携わったダグ・サックス氏でなくミキシングエンジニアのジェームス・ガスリー氏が自ら手がけています。サウンドであることを忘れさせるほどの没入感でありながら、気がつくとき360度しっかり囲まれています。



Derek And The Dominos / Layla & Other Assorted Love Songs

発売日: 2011年4月20日

フォーマット: DVD Video (DTS 96/24)

レーベル: Polydor (輸入盤)

規格品番: UICY-7502

2012年2月に発表された第54回グラミー賞のベストサウンドアルバム賞を受賞した作品です。原盤は、1970年にリリースされ、2004年に SACD 盤で一度サウンドミックスが登場してすぐに廃盤になり、新たに2011年4月に7枚組 Box セットで本作品が発売されました。その中の1枚がサウンドミックスで前作のミックスとは、違うミキシングエンジニアが担当しています。前作がミック・グザウスキー氏(マイケル・ジャクソンなどを担当)でグラミーを射止めたのは、前出のイーグルスも手掛けたエリオット・シャイナー氏です。2種類のリフを刻むリズムギターがリア LR にそれぞれパンされてフロント側のボーカルやリード楽器を盛り立てています。なお、このバンドのギターは、有名なエリック・クラプトン氏とデュアン・オールマン氏です。



ビートルズ

「ラブ」スペシャル・エディション

発売日: 2006年4月8日

フォーマット: DVD-Audio

レーベル: EMI ジャパン (国内盤)

規格品番: TOCP-70201

今年でデビュー50周年を迎えるビートルズの作品です。ラスベガスのミラージュ・ホテルで興行されている「シルク・ドゥ・ソレイユ」という音楽をモチーフにしたサーカス・ショー「ラブ」の為にサウンド・リミックスされ DVD-Audio 盤で登場したアルバムです。リミックスだけで

なく、いろんな曲の一部をつぎはぎして複雑な編集もなされています。

ビートルズといえば、サウンドエンジニアは、今年 86 歳を迎えた巨匠のジョージ・マーティン氏（英国 AIR スタジオの創業者）ですが、彼と息子のジャイルズ・マーティン氏との共同作業でこの作品が制作されています。元ビートルズのメンバーや家族の承諾も得られているので、ある意味で最新のビートルズ音楽が楽しめる作品でもあります。

古い音源ですが徹底した最新の音質向上技術が惜しみなく投入され、磨き上げられた音は、サラウンドミックスによって最新録音作品と肩を並べられるほどの新鮮な印象に仕上がっています。



角田健一ビッグバンド
/ BIG BAND SOUND
～甦るビッグバンドステージ～
発売日: 2010年8月25日
フォーマット: SACD ハイブリット
レーベル: WARNER MUSIC JAPAN
規格品番: WPCL-10852～3

この作品は、2006年にDVD-Audio盤でリリースされ、第13回日本プロ音楽録音賞において部門Bニューパッケージメディア最優秀賞を受賞しています。2011年にSACDハイブリット盤で再登場しました。さらに同時に新作も発売されました。

ミキシングは業界の重鎮、内沼映二氏によるものです。この作品でのサラウンドの良さは、臨場感の他にフロント側の音像の立体感が圧倒的に改善されている所です。ビッグバンドは、楽器の数が多いたのですが分離が良く音の厚みやハーモニー感が遺憾なく再現されています。また、使用機材の解説があり貴重な情報源でもあります。



Cornelius / SENSURROUND
発売日: 2008年3月19日
フォーマット: DVD Video (DTS 96/24)
レーベル: Warner Music Vision
規格品番: WPBL-90105

日本人としては珍しく2009年の第51回グラミー賞ベストサラウンドアルバム部門にノミネートされた作品です。日本でも平成18年度の文化庁メディア芸術祭で優秀賞を受賞した「Fit Song」も収録されています。

ミキシングは、高山徹氏によるものです。アバンギャルドな動画も音にマッチしており、映像も力作です。ユニークなパンニングながらサラウンドでないと表現できないツボがしっかり押さえられています。

「Sensuous」のエンディングでアコースティックギターのチューニングを下げてゆくところは、低域特性がしっかりしたシステムでないとうまく再現できない厳しい音源です。



富田勲 /惑星(プラネッツ) Ultimate Edition

発売日: 2011年6月1日

フォーマット: SACD ハイブリット

レーベル: DENON/Columbia

規格品番: COGQ-51

(左のジャケット画像は、富田氏のサイン入)

オリジナルは、1977年リリースです。CD-4 という 4ch ステレオでサラウンドでした。2003年に DVD・Audio 盤でさらにリファインされ昨年 SACD 盤で新曲を加えてのリメイク作品として登場しています。さらに「プラネットゼロ」という続編も素晴らしいです。

今年で満 80 歳になられた富田勲氏は、常に進化すること忘れず私達に究極の「惑星」をプレゼントしていただきました。基本は、4.0 サラウンドミックスでどのチャンネルも均等に扱われている所が富田流です。つまり、横を向いても後ろを向いても成立するパンニングなのです。今夏発売の「月の光 Ultimate Edition」もお奨めします。



Mike Stern Kansas City Symphony

/ Britten's Orchestra

発売日: 2010年6月24日

フォーマット: SACD ハイブリット

レーベル: Reference Recordings (輸入盤)

規格品番: RR120SACD

2011年に第53回グラミー賞のベストサラウンドアルバム賞を受賞しています。聴き所は、クラシックオーケストラの壮大なスケール感とリアから聴こえるハーモニクスを伴う美しい残響音です。録音技師のキース・O・ジョンソン氏は、音質を追及した録音で多くの実績を誇り、さらに録音機材まで新開発するなど音を良くするためには、労をいとわない職人肌のエンジニアです。



Erich Kunzel, Cincinnati Pops Orchestra

/ Tchaikovsky 1812 Overture

発売日: 2001年5月25日

フォーマット: SACD ハイブリット

レーベル: Telarc (輸入盤)

規格品番: SACD60541

2001年リリース作品です。譜面に大砲音が書かれていることでも有名な作品ですが、サラウンドなので四方八方から大砲に撃たれるような臨場感も格別です。発売レーベルのテラーク社の創始者で録音技術者のジャック・レナー氏が同じ曲を 1978年に当時は珍しかったサウンドストリーム社製のサンプリング周波数 50kHz のデジタル録音機を使ってステレオ録音した LP レコードの音の良さで大評判となり、CD 化され、さらに 2004年に SACD 化 (2ch ステレオ) されています。これとは別に、このサラウンド盤は、このジャック・レナー氏が前回と同じオーケストラ、指揮者、ホールを使ってサラウンドマイキングで DSD 方式による再録音されたものです。



藤田恵美

/ココロの食卓 ～おかえり愛しき詩たち～

発売日: 2008年9月17日

フォーマット: SACD ハイブリット

レーベル: ポニーキャニオン

規格品番: PCCA-60022

日本人シンガーで HiFi キーンとして特に海外のオーディオファンに人気のある藤田恵美さんの作品です。2曲目の「アザミ嬢のララバイ」は、秩父ミューズパーク音楽堂の心地よい響きが収録されております。音像が前後だけでなく上下にまで広がるようなサウンドデザインでありサラウンドで聴かないと味わえないミキシングです。

ミキシングエンジニアは、ベテランの阿部哲也氏とスーパーバイザーとしてソニーで AV アンプロの設計を担当されている金井隆氏が関わっておられます。

あとは、番外編として最終候補まで残っていたタイトルもリストアップしておきます。

- ・ Allan Holdsworth / All Night Wrong SMEJ XSCP-10001 (2008年6月) SACD
- ・ Donald Fagen / Morph The Cat Warner Bros 936249976 (2006年3月/輸入盤) DVD-A
- ・ Herbie Hancock / Head Hunters Sony Records SICP-10073 (2007年9月) SACD
- ・ The Gadd Gang Sony Records SICP-10098 (2008年5月) SACD
- ・ Diana Krall / Love Scenes Verve (2004年8月/輸入盤) SACD

さて、サラウンドのオーディオ的なメリットを考えたときに思い浮かぶのが、2ch ステレオに比べて聴こえてくる音の情報量が非常に多いということです。これは、オーディオの醍醐味として非常に重要なファクターだと思います。2ch ステレオでは、絶対に味わえないサラウンドの音楽作品の楽しさと深遠さを一人でも多くの方々に楽しんでもらいたいと願うばかりです。

ご自宅での 5.1 サラウンド環境をこれからやってみようかと考えておられる方は、迷う事なくお奨めします。物理的な制約で躊躇されている方も 1.5m 程度四方以上の空間があれば実現できますし、5.1 サラウンド対応のヘッドホンもあります。カーオーディオでもサラウンドは可能です。前出の通り現在でもそれなりの数の魅力的なサラウンド音楽のタイトルが発売されています。5.1 サラウンド音源をネットダウンロードすることも可能になりました。

1970年代に始まった CD-4 を始めとする「4ch ステレオ」は、結果的に失敗に終わりましたが、膨大なノウハウの蓄積や反省点はしっかり活かされていますので、同じ轍を踏むことはありません。あとは、黙って楽しむだけです。

筆者プロフィール

石井 久雄 (いしい ひさお)

オタリテック株式会社在籍、プロ用モニタースピーカー GENELEC の輸入販売担当。

1961年生れ。学生時代は放送部所属、オーディオ暦約 40年、うちサラウンド暦 15年。